



2021年5月14日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号：6094 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 C F O 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

営業外収益の計上及び特別損失の計上に関するお知らせ(開示事項の経過報告)

当社は、2021年9月期第2四半期連結会計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)において、下記の通り、為替差益、投資有価証券評価損及びデリバティブ取引評価損の計上を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 為替差益の計上

為替相場の変動により、2021年9月期第2四半期連結会計期間において、為替差益として連結で318百万円を営業外収益に計上いたしました。

その結果、当連結会計年度において、為替差益として226百万円を営業外収益に計上しておりません。

2. 投資有価証券評価損の計上

当社が保有する非上場会社株式1銘柄について、実質価額が下落したため投資有価証券評価損として連結で80百万円を特別損失に計上いたしました。

3. デリバティブ取引評価損の計上(開示事項の経過報告)

当社が2020年11月16日に開示いたしました「特定子会社の異動(株式譲渡)及び特別利益計上のお知らせ」に関して、2021年9月期第2四半期会計期間において、デリバティブ取引評価損として単体及び連結で132百万円を特別損失に計上いたしました。その結果、当会計年度において、デリバティブ取引評価損として227百万円を特別損失に計上しております。

本件譲渡に係る譲渡価額については、2020年11月16日に開示した金額で確定しておりますが、当社が株式の譲渡先である株式会社SBI証券との間で締結したデリバティブ契約に基づき、株式譲渡契約日の翌日(2020年11月17日)から当第2四半期累計期間末日の株価変動に応じた損失額として、デリバティブ取引評価損を計上したものになります。

4. 業績に与える影響

上記の為替差益、投資有価証券評価損及びデリバティブ取引評価損につきましては、本日公表しました「2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上